

(B-b) 和文総説

- 1 瀬戸山晃一、依頼論文（単著）「医療と医学研究におけるパターンリズム」（『民事法学の基礎的課題～植木哲先生古希記念論文集～』勁草書房所収、413

(C-b) 和文原著

- 1 八木聖弥. 角田隆講義録『病理総論』(7).  
STUDIA HUMANA et NATURALIA 50 : 1 - 27, 2017.
- 2 八木聖弥. 栗田口解剖所をめぐる諸問題. 啓迪 31 : 58 - 83, 2017.
- 3 八木聖弥. 近代京都における医学研究の歩み.  
医史学の京風景 : 26 - 28, 2017.
- 4 八木聖弥. 蘭医大村家伝（二）. 醫譚 105 : 137 - 147, 2017.

(D) 学会発表

I) 特別講演、教育講演など

- 1 八木聖弥. 壬生狂言の成立と展開.  
公開講座～日本芸能史～. 2016年7月18日；京都.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 瀬戸山晃一、2017年度日本法哲学会ワークショップ  
『生命医科学の発展がもたらす倫理的法的社会的問題の学際的考察』〈開催責任者〉（H29/11/18@大阪大学豊中キャンパス）講演題目「遺伝子差別と平等」

E 研究助成（競争的研究助成金）

- 1 瀬戸山晃一、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）研究公正高度化モデル開発支援事業「研究データの信頼性確保を中心としたモデル教材開発並びに教育機能と評価尺度を備えた履修管理システムの構築」平成29年度（研究代表者） 2988万（間接経費含）